

ESMPRO/ServerAgent (Windows版) Ver. 4.4/4.5 コンフィグレーションツールガイド

第1章 概要

第2章 ご使用前に

第3章 インストール

第4章 esmamsetコマンド

第5章 esmsacfgコマンド

商標および著作権

本ソフトウェアの著作権は日本電気株式会社が有しています。

* ESMPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。

* Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国 およびその他の国における商標または登録商標です。

* その他記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。

実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書の内容は万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りおよび記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については、(4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

1. 概要.....	1
2. ご使用前に.....	1
3. インストール.....	2
4. esmamsetコマンド.....	3
4.1. 使用方法.....	3
4.2. 戻り値.....	4
5. esmsacfgコマンド.....	5
5.1. 使用方法.....	5
5.2. 戻り値.....	6
5.3. 動作ログ.....	6

1. 概要

esmamset. exe

コマンドラインインターフェースを使用して、ESMPRO/ServerAgent が使用する通報手段を設定します。

本ツールでは、以下の設定をすることができます。

- (1) 通報手段(マネージャ通報(SNMP))の有効/無効設定
- (2) 通報手段(マネージャ通報(TCP_IP In-Band))の有効/無効設定
- (3) 通報手段(マネージャ通報(TCP_IP In-Band))の IP アドレスの設定
- (4) ESMPRO/ServerAgent からのシステムシャットダウン 有効/無効の設定

esmsacfg. exe

コマンドラインインターフェースを使用して、ESMPRO/ServerAgent が使用する SNMP コミュニティ名およびラック名を設定します。

本ツールでは、以下の設定をすることができます。

- (1) ESMPRO/ServerAgent が使用する SNMP コミュニティ名の変更
- (2) ラック名の変更

2. ご使用前に

- (1) 本ツールを使用するには、ESMPRO/ServerAgent (Windows 版)が必要です。
必ず、ESMPRO/ServerAgent (Windows 版)をインストールしてください。

- (2) 本ツールを使用するには、管理者権限が必要です。
必ず、管理者権限を持つユーザー (Administrator) でログオンしてください。

Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Vista, Windows 7 で使用する場合は、昇格したコマンドプロンプトで実行してください。

昇格したコマンドプロンプトは、[スタート]メニューの「コマンドプロンプト」で右ボタンクリックして表示されるメニューの「管理者として実行...」をクリックすると起動できます。昇格したコマンドプロンプトは、タイトルバーに「管理者:コマンドプロンプト」と表示されます。

また、本ツールをバッチファイルで使用する場合には、バッチファイルを「管理者として実行...」で実行してください。

3. インストール

- (1) ダウンロードした esmpro_amtools_win.zip を、設定する Windows サーバの任意のフォルダに格納します。
- (2) esmpro_amtools_win.zip を格納したフォルダに移動し、展開します。

以下のファイルが展開されます。

ファイル名	日付	サイズ	ファイルバージョン	MD5 チェックサム
esmamset.exe	2011/01/31 15:28	75,752	1.0.0.0	f0ac3014cc8b43b79b5b030121cb8cf6
esmsacfg.exe	2011/03/29 09:47	55,272	-----	dfcf26a6a4bba8d08cbbee510573470d

本ツールが不要となったときは、ダウンロードしたファイル、および展開したファイルは削除してください。

4. esmamset コマンド

4.1. 使用方法

esmamset.exe の使用方法は以下のとおりです。

esmamset [OPTION]

Usage: esmamset [/?] [/s on|off] [/t on|off] [/i <IP アドレス>] [/o on|off]

Options:

- /? Display this help message.
- /s Enable or disable the Manager Report (SNMP).
- /t Enable or disable the Manager Report (TCP_IP In-Band).
- /i Set the IP address for Manager Report (TCP_IP In-Band).
- /o Enable or disable the shutdown from ESMPRO/SA.

[OPTION] 指定

[OPTION] には以下のオプションを指定します。複数のオプションを同時に指定することもできます。

オプション	説明
/s on off	通報手段(マネージャ通報(SNMP))の有効/無効を設定します。 on :有効 off :無効
/t on off	通報手段(マネージャ通報(TCP_IP In-Band))の有効/無効を設定します。 on :有効 off :無効
/i <IP アドレス>	通報手段(TCP_IP IN-BAND)の通報先 IP アドレスを指定します。
/o on off	ESMPRO/ServerAgent からのシステムシャットダウンの有効/無効を設定します。 on :有効 off :無効
/?	ヘルプ (Usage:) を表示します。

4.2. 戻り値

esmamset.exe の戻り値は以下のとおりです。エラーメッセージはコマンドプロンプト画面に表示しません。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
1	設定に失敗しました。指定されているオプションの内容を確認してください。
2	設定に失敗しました。ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください。
4	設定に失敗しました。ログインしているユーザーにツールの実行権限がありません。

5. esmsacfg コマンド

5.1. 使用方法

esmsacfg.exe の使用方法は以下のとおりです。

esmsacfg [OPTION]

USAGE:

```
esmsacfg [/c <CommunityName> | /r <RackName>]
```

/c <CommunityName> Specify the community name.

/r <RackName> Specify the rackmount name.

The specified community name must exist in the security tab of SNMP service settings.

The maximum length of rack name is 63 bytes, and only use A-Z, a-z, 0-9, '.', '_' or '-'.

[OPTION] 指定

以下のオプションを指定します。複数のオプションを同時に指定することはできません。

オプション	説明
/c <CommunityName>	<p><CommunityName>で指定した SNMP コミュニティ名を設定します。</p> <p>指定する SNMP コミュニティ名は、あらかじめ SNMP サービスの設定で「受け付けるコミュニティ名」に登録されていなければなりません。</p> <p>また、下記のいずれかの「権利」で登録されているコミュニティのみが指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">- 『読み取りのみ』- 『読み取り、書き込み』- 『読み取り、作成』
/r <RackName>	<p><RackName>で指定したラック名を設定します。</p> <p>ラック名の最大長は 63 文字で、使用できる文字は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">- A~Z と a~z の英字- 0~9 の数字- '.' (ドット)- '_' (アンダーバー)- '-' (ハイフン)

5.2. 戻り値

esmsacfg.exe の戻り値は以下のとおりです。エラーメッセージはコマンドプロンプト画面に表示しません。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
0 以外	設定に失敗しました。

5.3. 動作ログ

esmsacfg.exe の動作ログは、%EsmDir%\¥tool¥log フォルダに出力されます。